

## ■ 学校と地域の連携を通じて、生き生きと活動に参画できる社会づくり（松原中学校）

### 1 【活動の趣旨】

様々な地域課題について、体験的な学びを通して、その解決に生徒が主体的に関わり、地域社会の一員としての意識を高め、行動力を身に付けることをめざす。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○保育体験

スクールE S D くさつと家庭科との教科横断型の取組として、松原中学校区のこども園の3園で、4歳児と5歳児を対象に保育実習を実施した。活動の中心は、家庭科で学習した手遊びを園児と一緒に取り組んだり、春大根の栽培方法をタブレット紙芝居で園児に見せたりした。また、園児と一緒に春大根の種を蒔く取組を行った。

#### ○農業体験

地域コーディネーターとの連携のもと、草津市農林水産課の農商連携調整員や地元農家の方々から指導をいただき、土壌改良、畝づくりや栽培などの農業に関わる体験活動を行った。地域の方や草津市第二学校給食センターから堆肥等をいただき、土壌改良をすすめた。そして、とうもろこしや春大根の種を蒔き、水やり・追肥をしながら栽培した。



【タブレット紙芝居の様子】



【春大根の種蒔きの様子】

### 3 【実施に当たっての工夫】

- ・保育体験では、事前に市役所の幼児課の方から講演をしていただき、実習を行うに当たっての心構えや注意すべきポイントを話していただいた。
- ・農業体験については、総合的な学習の時間を通して、農産物を育てる意義や目的を考え、草津市の特産野菜である「ベジクサ」について調べ学習等を事前に行った。

### 4 【事業の成果】

- ・世代を越えてのコミュニケーションを行う力を身に付けることができた。生徒たちが中学校を卒業し、社会に出たときに様々な世代の人たちとコミュニケーションを図っていくきっかけとなった。
- ・園児や地域関係者、ボランティアの方々とのふれあいにより、生徒たちにとって温かいつながりを持つことができた。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・来年度以降も継続的に保育実習に取り組んでいけるよう、実習先となるこども園との打ち合わせや連携を密に図っていきたい。
- ・地域と学校のニーズの重なりを検討し、地域ボランティアを活用していきたい。